

1号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和元年5月30日(木)
招集の場所	議員控室
開会	午前10時15分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 柳田 政喜 委員 村松 秀雄 委員 平吹 俊雄 委員 手島 牧世 委員 藤田 洋一 委員 前原 吉宏 委員 我妻 薫 議長 大橋 昭太郎
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	健康福祉課長 櫻井 清禎 健康福祉課課長補佐 菊地 知代子 健康福祉課健康推進係長 伊藤 八重子 事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	1) 調査研究テーマ「健康な身体づくり対策について」担当課との意見交換 2) 所管事務調査について
その他	
閉会	午後2時40分

2号様式 協議の経過

	開会 午前10時15分
福田委員長	<p>皆さん、こんにちは。</p> <p>今日は、健康福祉課の職員の皆さんにお忙しいところおいでいただきありがとうございました。</p> <p>はじめに、職員の紹介をお願いいたします。</p>
櫻井健康福祉課長	<p>この度は、健康な身体づくり対策を常任委員会の研究テーマとしていただき、ありがとうございます。健康福祉課では、住民の皆様の健康増進のため各種事業に取り組んでおりますが、本日はその取り組み内容と課題について御説明させていただきます。職員の紹介をさせていただきます。菊地課長補佐でございます。（「菊地です。よろしくお願いいたします」の声あり）そのとなりが、健康推進係長の伊藤でございます。（「伊藤です。よろしくお願いいたします」の声あり）課長の櫻井です。よろしくお願いいたします。</p>
福田委員長	<p>それでは、議員の紹介は自己紹介でお願いします。（「平吹です」「村松です。よろしくお願いいたします」「手島です。よろしくお願いいたします」「我妻です」「前原です」「藤田です」「柳田です。今日はよろしくお願いいたします」の声あり）委員長の福田でございます。今日はよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいまより、第17回教育、民生常任委員会の会議を開きます。委員全員出席ですので委員会は成立いたしております。</p> <p>今日の会議事項は、担当課のほうに前もって意見交換の内容についての項目をお渡ししておりました。この項目に沿って、担当課より説明をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
櫻井健康福祉課長	<p>それでは、説明をさせていただく前に、本日の資料を確認させていただきます。1つ目は美里町議会教育、民生常任委員会、右上のほうに健康福祉課資料というものです。それから、右上のほうに長寿支援課資料というものが2つ目の資料になります。それから、A3判の用紙、折り込んである資料が3つ目の資料になります。それから、カラー刷りのA4判の用紙になりますが、みやぎウォーキングアプリのリーフレットであります。あとは、参考資料という形になりますが冊子のもの、データからみた宮城の健康概要版というものと、小さめのリーフレット、この6点が本日の資料になります。今回の11項目についての説明になりますが、この番号に沿って資料を作らせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。この中で、3番の認知症予防、これは所管が長寿支援課になりますので、長寿支援課から資料をいただいておりますので、そちらのほうの資料提供となります。11番のお茶っこ飲み会の現状、こちら所管が長寿支援課になります</p>

	<p>ので、こちらのほうも資料の提供となります。それでは、資料の見方ですが1枚目の健康福祉課資料で、1番、運動による健康づくり、これがこの項目に沿った内容になります。次の10番の生活習慣病対策の1番、運動については関連がございますので、ここでまとめて御説明をさせていただきます。こういった中身で今日の説明をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、菊地課長補佐から説明させていただきます。</p>
<p>菊地健康福祉課課長補佐</p>	<p>よろしくお願いいいたします。健康福祉課資料A4判の資料とA3判の折り込みの資料を合わせてご覧いただきながら、説明をさせていただきますと思っております。A3判の資料につきましては、地区に出向いてであったり、協力員であったり、食生活改善推進委員さんなど町民の皆様にお渡しをしている資料になりまして、町の現状と今年度にこんな事業を取り組んでいますので、皆さん一緒に健康づくりに取り組んでいきましょうという説明のものとして使っている資料になっております。</p> <p>初めに、運動による健康づくりと生活習慣病予防対策の運動について現在の取り組み内容等について御説明を申し上げます。大きな資料の1番の身体活動・運動のところですが、現状として表のグラフも入れさせていただいておりますが、こちらの定期的に運動している人の割合というのは、5年に1度、町民健康調査を実施しておりまして、その実態についてグラフ化したものであります。右のグラフについては、子供たちの現状はということで、乳幼児健診、特に2歳児健診の際に、今お子さんはお外で遊んでいらっしゃるかと、身体活動というところでの協議の評価をしようということで、統計としてとっている現状になっております。子供の頃からの運動習慣というところも結び付けていきたいと思ひまして、乳幼児健診の個別面接の時や、皆さんが集まった時に、集団の場面で運動習慣をつけていくことの大事さをお伝えしています。また、親御さんたち、働き盛り世代の方々にも、子供と一緒に体を動かすことを進めていってほしいということで、参考にお渡ししました小さな冊子ですが、プラス10ということで、こういったことも身体活動・運動の一つですよというところを親御さんのほうにもお伝えしながらということで、話をしています。</p> <p>それから、もう一つの事業としましては簡単エクササイズということで、運動教室を昨年度は11回実施をいたしてありまして、健康運動指導士を講師に招いて実施をしております。昨年度は延べで398人、御参加をいただきながら事業を進めています。</p> <p>それから、地区に出向いての栄養教室の場面では保健師も同行いたしまして、食事の学習と合わせて運動についての大事さもお伝えするというので、軽運動も合わせて実施しております。そういった中で、運動習慣についての取り組みをしております。</p>

それから、資料としてお渡ししました、みやぎウォーキングアプリということで、昨年、宮城県がアプリの開発をいたしまして若い方々に運動のきっかけ作りをしていただきたいということで始まったものになっています。こちらのチラシを子供の健診の際にパパやママたちにもお渡しをして登録しながら楽しく運動してみませんかというようなこともお話をしている状況です。

続きまして、2番、特定健診・健康診査、がん検診を推進する取組ということで、お話をさせていただきます。大きな資料につきましては、5番目の生活習慣病のところではグラフの各種がん検診・特定健診受診率を載せてございます。美里町が掲げている目標値にはまだ届かない状況にはなっておりますが、少しでも受診率を拡大できるようにということで、平成30年度から検診料金を無料とする節目の年齢を拡大して実施しております。実際、総数での受診数も若干の伸びである中でも、初めて節目で無料になったという方々の受診数が増えているという状況になっています。それから、検診が開始になる年齢、例えば、子宮がん検診であれば20歳、胃がん検診であれば美里町は35歳からというふうに、開始初年度になる方々にはその検診の内容についてのお知らせを、個別通知をしながら御案内させていただいております。そこで、検診の必要性、早期発見の必要性について知っていただくということで勧奨通知を出しております。

それから、検診の申し込みをとりまして、申し込まれた方々への検診の御案内をしている状況ですが、どうしても期限内に受けられなかった方に2次検診という形で出しております。受診率の拡大を目指しております。がん検診は、特に40代、50代の受診率がなかなか伸びてこないということもございまして、節目の年齢を拡大したことと合わせて、若い年代から検診の必要性を理解していただくということで、特に3歳児健診が乳幼児健診では最後の健診になりますけれども、その場面では親御さん方も自分の健康づくりに取り組んでいただきたいということで、がん検診に関する資料をお渡ししながら、検診の啓発を行っております。

4番目の健康フェアの開催につきましては、平成21年度までは町民健康づくりの集いを実施しては行いましたが、健康増進計画の見直しを22年度からスタートしまして行った際に、先ほどから申し上げておりますように、働き盛り世代にこちらからのアクションを少し手厚くしていかななくてはならないのかなというようなことになりまして、実際のところではそれを機に全体的な集いのようなフェアについては実施をしていないということになっております。

続きまして、関連する内容なので合わせて5番の高血圧の予防、7番の減塩の取組、番号がおかしいですね、6番のバランスのとれた食事、10番の生活習慣病予防対策の食生活について、合わせて御説明

をいたします。大きい資料の2枚目、左側のところに栄養・食生活という欄がございます。宮城県全体の状況になっておりますが、食塩の摂取量の実態となっております。男性の塩分の目標値が9グラム、女性が8グラムという中で、全年代を通しまして宮城県は塩分摂取量が多いという実態です。この辺は宮城県全体というところで、美里町ももれなくという実態だと思っております。ですから、下の野菜摂取量の状況も50グラムを目標に食べましょうということで、地区でも栄養教室の中でお伝えしていますが、70代くらいになってくるとそこに近づいてくるのですが、若い年代の方々はなかなか摂取量としては少ない現状にあるということで、宮城県全体を通して減塩についてはあと3グラムの減塩を目指すということと、野菜についてはベジプラス100ということであと100グラム摂りましょうということで取り組んでいる現状にあります。そうした中で、美里町も地区の栄養教室においては、減塩をテーマにしながら講話と塩エコ、塩分を控えるというような調理実習を実施しております。平成30年度は地区に22回出向きまして、300人程度の参加をいただいているということになっております。

それから、子供の頃からの望ましい食習慣の確立というところも合わせまして、食育活動の普及をサポートしてくれる方々に御協力をいただきながら、乳幼児健診、特に1歳6カ月の健診の時に、保護者へ食育に関するプリントを配付しております。そこには、野菜を摂取することを目指してちょっとしたメニューも入れてみながら、というようなプリントの配付をいたしております。同じく、乳幼児健診の時ですが、お一人ずつの御家庭でのお食事状況を把握して、その状況に合わせてバランス食に向けた栄養士のほうからのコメントを入れまして、お一人ずつにお返しをしている状況です。

それから、減塩というところでは、御家庭でのみそ汁の状況を塩分測定器を用いながら現状を把握しまして、こういう状況ですと結果をお返ししたり、健診の場面で減塩の味噌汁を試飲していただきながら、実際に薄味とはこういう状況ですと保護者の皆さんに味わってもらったりしながら比較をさせていただいている状況になっています。

あとは、乳幼児健診を卒業されてから幼稚園の年代の方々は、幼稚園の保護者向けに食育情報プリントということで、野菜のレシピ付きのプリントを年5回発行しております。そういった内容につきましては、美里町のホームページのほうにアップをして、食育のコーナーとして、他の年代の方々にも御覧いただけるような情報発信を行っております。子供たちの食事のアンケートをとっておりますけれど、親御さんにも状況把握のためにお尋ねをしている状況ですが、子供の食事の状況は当然ながら、親御さんの食事が引っ張られると言いますか、保護者の年代の方々に望ましい食習慣、バランス食というところをお

伝えしていかないと、子供たちにも結びついていかないのだなという
ような現状にあります。8番のメタボリック・シンドローム対策につ
いては、大きい資料1枚目の5番、下のほうに特定保健指導の対象者、
修了者ということでグラフがあります。メタボリック・シンドローム
の対策として始まった健診が特定健診・特定保健指導という事業であ
りまして、特定健診の結果、腹囲と血圧の状況、コレステロール、血
糖値の状況等の基準値を超えている方々に特定保健指導の対象者とし
て御案内をしています。ご覧のとおり、対象者が高いほうで、網掛け
のほうで修了者で、現実問題として御案内はさせていただいておりま
すが、なかなか特定保健指導に結びついていないということが課題
になっているところであります。ただ、この辺が、毎年の保健指導の
修了率が低くてですね、県内ワーストのほうなのですね、美里町が。
そこらへんを打破していかなくてはいけないということで、担当課の
町民生活課と検討をいたしまして、今年度からは健診会場で特定保健
指導の初回の指導を開始するというスタイルにいたしまして、3倍か
ら4倍くらいの面接を、今年度5月、さっきまで実施をしたところな
のですが、概算ではそのくらいの伸びが見えますということ、健診
の担当者から報告をいただいております。

それから、保健指導に該当しないけれど、自分の健診結果の見方が
分からないとか、何かしら数値に基準値を超えるものがあるのでは
という方々には個別相談会として、保健師、栄養士で面談をしながら
御案内をしているところです。特定保健指導は治療に値する方々は
対象外でありまして、治療の対象になるような方々は早期に治療に結
びつけまして、重症化を予防しながら、将来的な血液透析等の医療費
の高額なものにならない対策を進めるという意味で、糖尿病・成人病
重症化予防事業を昨年度から始めました。こちらの具体的な中身とし
ましては、遠田郡医師会の先生方に御協力をいただきまして、医療の
対象者の方々に受診の呼びかけをしまして、先生方に受診された結果
を先生方から返却していただきまして、その結果に基づいて保健指導
が必要な方については個別指導しながら数値がどんどん上がってい
かないように、どういうふうな対策ができるかという御案内をする事業
となっております。

続きまして、9番の口腔ケアです。大きい資料の2番のところは歯
の健康ということで、小児の現状ですが、3歳児の一人平均虫歯数は
年々減ってきている状況で、成果としては上がってきている状況です。
さらには、虫歯が無い、一人平均虫歯数は一人の子が十何本もあれば
ぐんと増えてしまうのですけれど、まずは虫歯の無い子が増えてい
くのが大事だろうということで、虫歯の無い子の割合も増えていくとい
いなということで、こちらも含めて増えているという現状になって
います。3歳の虫歯の無い子を広報に顔写真が載るといことも、保

護者の皆さんが目標にしながら取り組んでいただいている状況です。そういった意味で小さい頃からの歯磨き習慣、子供だけでなく保護者が仕上げ磨きをすることと、虫歯予防のためのおやつのかぶり方だったり、そういったところの情報提供をしながら、虫歯予防対策を進めています。さらには、子育て支援センター御利用の保護者の皆さんに歯科医や歯科衛生士が出向いていきまして、身近な場面で、この子のこんな困りごとみたいなところをやりとりしながら虫歯予防を継続していくような教室も行っております。大人の方々につきましては、特定健診等の会場で歯周疾患健診を実施しております。口臭測定から始まりまして、歯科医の診察、あとは歯磨きの指導をいただいているというように健診を行っております。その健診の結果の事後指導会ということで、その後に受診をされた方もありますし、継続して先生方のお話を聞きながら、歯周病の予防に努めたいという方々を対象にした教室として実施をしております。

最後になりますが、10番の生活習慣病予防対策の飲酒と喫煙、大きい資料の4番のタバコ、アルコールになりますが、こちらはグラフは入れておりませんが、その1番下の段になりますが、今日お渡ししたデータからみた宮城の健康は概要しか載っていないので、ここにはないのですけれど、昨年度に詳細版の29年度版が出ましたので、その中では男性の喫煙状況が県内で美里町がワースト7位、毎日お酒を飲む習慣があると答えた方々が、ワースト8位という状況です。お酒好き、タバコのみというのが美里町の現状としてはあるのですけれども、特に子育てをするというか、妊婦の時代にはぜひ禁煙をしていただきたいというところがありまして、母子健康手帳を交付する際には、この喫煙状況の確認と産後も禁煙していただけるといいと、母体のためにも子供のためにもということでお話をしております。なので、出産後の新生児訪問の時にもその辺の確認をさせていただきながら、禁煙の継続を促しているところです。男性のほうが多い現状があるということで、特に働く男性の方々にアプローチができないかということで、平成30年度はアルコールをテーマにして実施をいたしました。今年度もこの事業については継続しようと思っております。ただ、残念ながら参加者数が少ないというのが現状でありまして、商工会を通じて呼びかけをしていただいたり、いろいろな場面でチラシを配付させていただいたりしたのですが、なかなか難しく、ターゲットとしたいところに向かっていく手法的なところが今ちょっと持ち合わせが少ないところなのか、その辺が課題になっているところです。

あとは、先ほど課長からお話がありました認知症予防の取組とお茶っこ飲み会の現状については資料提供ということで、詳細の部分はお伝えできないので、何かしらの確認事項がありましたら、担当課のほうにお尋ねいただけるといいのかなと思っております。

	以上、簡単でしたが説明とさせていただきます。
福田委員長	ありがとうございました。意見交換の項目の11番については。
菊地健康福祉課課長補佐	長寿支援課作成の2ページ目が、お茶っこ飲み会の現状ということ です。
櫻井健康福祉課長	ご不明な点がございましたら、私がお話を伺って長寿支援課のほう に伝えます。
福田委員長	はい。担当課から詳しく取組状況の報告をいただきました。いろいろ と皆さんがお聞きしたい点があると思いますので、1番からしてい きたいと思います。運動による健康づくり、生活習慣病予防対策につ いてお聞きしたいことはありませんか。 手島委員。
手島委員	4番と関連なのでですけど、一般の参加者がたぶん働き盛りから65 歳以上の方が多いのかなと、参加率としては見ているのですけれども、 そちらに力を入れるために健康フェアをやめて、働き盛りの対象にア クションをかけて力を入れているということだったので、 同時にこちらと両方のどういった成果が、向上しているとかそういつ たところを教えていただきたい。
菊地健康福祉課課長補佐	直接の担当である伊藤のほうからお話をさせていただきます。
伊藤健康推進係長	かんたんエクササイズにつきましては、健診を受けた方の30代から 70代までの幅広い年齢層の方が参加しておりまして、筋トレ、有酸素 運動とかやっています、効果としては体力測定をして、握力とか敏 捷性とかそういうところで全体的な評価をさせてもらっています。参 加した方々の理由としては、知り合いに勧められたからとか、運動す るためのきっかけがほしかったからというような意見がありました。 それで、今後も希望されているということで、エクササイズに参加し ての意識というところでは、運動を意識するようになったとか、歩く 時間を作るようになったとか、階段を使うようになったとか、同時に 血圧測定も事前にしてからエクササイズにのぞんでいるので、事後測 定というような習慣もついてきたようなので、それを普段の生活に意 識して取り入れてもらえればなということで、その辺も成果としては、 自分の健康に興味をもってもらうということができたかなと思いま す。 あとは、30代の働きかけというところで、お子さんが小さいので託 児の部分を設定しまして、お子さんが見ているところでお母さんが運動 するということで、そのお子さんも一緒に運動できたりとか、子供に も働きかけができていかなと思っています。
福田委員長	他にありませんか。 続きまして、2番の特定健診・健康診査、がん検診を推進する取組

	<p>について、お聞きしたいことがあればお願いします。</p> <p>私からは。平成 29 年度の表が出ているのですけれど、この胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんのうち、がんが見つかった方が何人おられるか分かりますか。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>1 番多いのは大腸がんなのですね、検診で発見される数が。大腸がんなのですが、手元に資料の持ち合わせがないので。(「あとでお願いします」の声あり)</p>
福田委員長	<p>2 番について何かありませんか。(「今の確認です」の声あり)</p> <p>我妻委員。</p>
我妻委員	<p>大腸がんにしる、他のがんにしてもそこで発見ではないじゃないですか。再検査、精密検査とって、その結果になる。それが全部、連絡がきての話なのですか。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>そうですね。ただ、1 年遅れになるのですね。精密検査の御案内をその年にさせていただいて、その年には精密検査の受診状況は把握できるのですけれど、確定の報告はその翌年になります。検診後に、ご本人から行ってきたよと、こうだったよと報告される方もいますが、まとめた数字は翌年になります。</p>
我妻委員	<p>基本的に、医師からくるのでしょ。精密検査を受けた医師から。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>検診団体のほうに集約をしていただいて、そこから町に最終報告をいただくという形です。</p>
福田委員長	<p>藤田委員。</p>
藤田委員	<p>毎年受けている人もいるのですか。何でもかんでも受けてきたけれど、今までさっぱり分からなかったと言う人もいて、それは本人にもくるのでしょ。役場のほうで連絡よこさないとか言う人もいるのだけどね。受けた結果をね。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>異常無い方には役場から通知を差し上げます。それで、精密検査になった方はそこからは医療のほうにつながるので、そちらでご本人が先生から報告をされるということなので、役場の書面での結果は精密検査が該当になっていますよという御案内だけになります。</p>
藤田委員	<p>ちゃんとやっているのでしょうかからね。そういうのがちょっと、聞こえたものだから。さっぱり分からなくて、3 年だか 4 年、毎年受けているのだけれど、見つかったとか疑いあったとかね。もっと早く分からなかったのかと、そういう方もいたものですから、毎年受けていたってこれは分からないですよ、これは結果ですからね。その辺の対応がどうなっているのかとちょっと言われたことがあって、きちんと通知がきますよと言ったものだから。</p> <p>節目と言われましたけれど、節目の年齢的なものは決まっているのですか。</p>
菊地健康福祉	<p>5 歳刻みで御案内しています。40 歳、45 歳、50 歳、55 歳と。先ほ</p>

課課長補佐	どもあったように全然受けたことが無い人もいますし、受けるきっかけになればいいなというところもございまして、御案内をしています。昨年度も、初めて無料の節目の御案内で受けたという人たちが、前年の受診数より伸びているなという印象はあります。
福田委員長	他にありませんか。柳田副委員長。
柳田副委員長	やはり、こういう検診の受診状況という形でこの表をいただいているのですけれど、ちょっと気になるのが年代なのですよね。若い人たちは他の機関で受けたり、健康に無頓着で受けないというのもあるかもしれないですけど、高齢者の方が行くのが面倒くさいとか、行くのが大変だからとかいう人もいると思うのですね。そういう高齢者の受診率というのは、どういう雰囲気ですか。詳しい数字は出ないと思いますが、例えば、頑固な人で元気だからいいとか病院に行ったことない、薬飲んでないという人もいるじゃないですか。その辺が心配なののですが。
菊地健康福祉課課長補佐	受診率が1番高いのは60代。60代、70代という感じ、ざっくり言うと。75歳以上はひとくくりにしていますので、80歳以上がどの程度かはちょっと。
柳田副委員長	早い話が、高齢者の人たちがどうしても頑固で来ないとかいうことで、そういう人たちを集めてある程度、健康チェックして、血圧が高いよとかそういうのを診て、健診を受けなさいという形で指導している取り組みもあるのですよ。例えば、お茶っこ飲み会みたいところで、集めて飲ませて話をして終わりじゃなくて、そこで健康チェックして危険なところを指摘して受診しなさいというような話をしてあげれば、受診率を上げるにはそういう取り組みも必要かなと思って、その辺が心配だったのでお聞きしました。
福田委員長	他にありませんか。次に、健康フェアの開催について、お聞きしたいことはありませんか。 あの、若い年代の方の受診率向上に力を入れる方針というものを強化したということですけど、それとまた別の問題だと思うのですね。以前にいろいろなところを視察して、健康フェアを本当に楽しくやっているところが多いので、この辺についての考え方は。なぜ、できないのかと疑問に思っていますが、どうでしょうか。人員が足りないのですか。保健師さんがかかわるので、大変だとは思いますが。
櫻井健康福祉課長	現実的にはそれもあるのですけれども、健康フェアという単独の開催でなくても、町のイベントの際に健康増進に関係したリーフレットとかを配付するとかですね、そういったところから少しずつやっていければいいのかなと考えてはいます。
福田委員長	お祭りふうにすればみんな集まって、意識が高くなるのでは。前にはやっていたので。人員が足りないというのが大きな原因かなと思

	<p>ながらもいましたけれど、健康に興味を持ってもらう、意識を高めるという意味ではお祭りふうにしたほうがいいのかと思っています。</p> <p>他にありませんか。次に、高血圧の予防についてお聞きしたいことがありますら、お願いいたします。国の方針で、130になったのですよね。ほとんどの人がひっかかるのではないかなと。ありませんか。</p> <p>それでは、次に、減塩の取り組みについてお聞きしたいことはありませんか。ないようですので、それでは、次にいきます。バランスの摂れた食事について、何かありませんか。それでは、次にいきます。メタボリック・シンドローム対策について、お聞きしたいことはありませんか。手島委員。</p>
手島委員	<p>バランスの摂れた食事、生活習慣にも全部かかってくると思うのですけれど、一番メタボの対象となっているところと町の現状として小学生や中学生、子供たちの肥満傾向とかそういったのがすごく気になります。全国的に上位に入っていくような傾向があると思うのです。宮城県の中でも美里町は高いので、全国的にもかなりいいランキングに入っているのではないかと思います。ただ、それは本当に大変なことだと思いますが、どこから取り組んでいって、どこを重点的にといるのを考えていますか。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>子供の肥満は、子供の食事は保護者の食事が影響を与えているだろうということで、3歳児健診までの体格で身長、体重のバランス的に肥満傾向の子供はほとんどいないのですが、幼稚園から小学校の健診になると、肥満の出現率が上がってくる現状があって、その中間層あたりで何かできないかなというところを、昨年度からちょっと取り組みを進めていきたいと思っているところでありまして、昨年度末なのですが、幼稚園の保護者に食事のアンケートをさせていただいて、保護者の食事傾向と子供の食事傾向が当然のごとくリンクしていて、家に帰ってからの食べ物や飲み物の状況も見えてきたので、教育委員会サイドと御相談しながら、幼稚園の保護者を対象にした授業をさせていただけないかなということで、今年度は御相談をしていきたいと思っています。そこが、子供たちにも反映されるだろうし、働き盛り世代の保護者の方々になるのかなと思いますので、そちらに出向いて行ってできればいいなと思います。</p>
手島委員	<p>小児糖尿病のお子さんたちというのは、どのくらいいらっしゃるか分かりますか。（「実情は」「いいですか」の声あり）</p>
福田委員長	<p>我妻委員。</p>
我妻委員	<p>この資料の野菜摂取量のことですが、20代、30代、40代が少ないということで、これは県の資料ですが美里町も大体同じ傾向というお話でしたが、この世代が子育て世代です。自らが少ないのに子供だけに摂らせるということは、これはならない。この辺の、若いお母さん</p>

	<p>が夜遅くまで働いている家庭も多いのかなと。それも考えてみると、自分のところを考えてみてもそうなのだけれど、おじいちゃんやおばあちゃんと同居している世帯は夕食なんかも準備してくれて、野菜なんかも摂らせるところがあるのかなと思うけれど、若い世代だけというのに関連するのかなと。さっき言った働き世代。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>さっきの食事のアンケートにコメントを入れて、やっぱり、忙しいママたちにどうしてもお店から買った物を使うことが多いんだろうなというアンケートになっていたりするようなのですけど、であればそこに何かこんな工夫ができないかなという提案なんかもしているよう話はしています。要はその、野菜がちょっと足りないのであればこんな工夫はどうでしょうというようなところも入れたりしているようですが、たぶん各御家庭のスタイルがあるのだと思うので、その中で取り組みやすいようなことを提案させていただいているようです。</p>
我妻委員	<p>身近なところで浮かぶのは、カップ麺で子供のおなかを満たしているのがすぐ目に浮かぶわけです。自らの課題でもあるのだけれど。でもこれは、結局はつながっているよね。ここの世代だけの問題じゃないよね、単純に。</p>
福田委員長	<p>他にありませんか。平吹委員。</p>
平吹委員	<p>この資料だと、肥満傾向は平成 27 年のデータとありますが、これはいつ出てきたものですか。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>毎年ですね、小学校、中学校の子供たちの肥満状況調査や食育のアンケートは教育委員会の協力をいただいとらせていただいておりますが、全国や県と比較をするにはこのデータが今こちらで把握できるものだったので、ここに載せました。毎年、実態として把握はしていて、学年が上がることに肥満傾向児が増えているという美里町の傾向にあります。</p>
平吹委員	<p>そして、30 年のデータはもうでましたか。やっぱり多くなっているのですか。数字的にどのくらいか。</p>
菊地健康福祉課課長補佐	<p>ちょっとそこまでは、今日は持ってこなかったのですが、学校のほうでもその辺はテーマにしなから取り組んでいるようですし、こちらのほうからも成人の今の肥満の状況等を情報提供もさせていただいているので、教育委員会サイドでは子供たちのそういった健康づくりの部分は取り組んでいただいております。</p>
平吹委員	<p>中学校はぐーんと上がっているようで、さっきも言っていた親の食べ物ということがあるのだけれど、やはり今は共働きが多いから、やはりそういったインスタント的な物を食べているのか、あるいは、運動していないのか、さまざまな事があるけれど、これはちょっと真剣に取り組んだほうがいいです。これがどんどん年齢が上がって成人になるのですからね。</p>

櫻井健康福祉課長	親の食事というのが当然一緒に作るので、影響が大きいと思いますので、その世代に対して生活を改善できるような町の体制があればいいと思ってはおります。
福田委員長	他にありませんか。糖尿病の予備軍も含めて、やはり増えているのかなと思いますが、その辺の状況はどうなっていますか。
菊地健康福祉課課長補佐	糖尿病かどうかというところまで把握はできていないのですが、医療費の傾向を見ると、高額医療になるような透析であったり、大きい心臓病の重大な手術をするというような疾患があったりするのですけれど、何が基本的な疾患だったのかとなると、高血圧だったり腎臓は糖尿病だったりということが基礎疾患になっている現状があるので、基礎疾患の予防対策というのはしていかなければならないという責任は持っているのですけれども。
福田委員長	他にありませんか。我妻委員。
我妻委員	糖尿病にも1型と2型がある。あとで、食生活が影響してなってしまうものと1型みたいについてくるか分からないのと、そういうのはこの健診では分からないよね。
菊地健康福祉課課長補佐	1型は、小中学校の時から注射が始まっている人もいらっしゃるのです。
我妻委員	必ずしも、若いうちからとならないから。30代、40代、あるいは5代、60代になってから急に現れる場合もあるのだけれど。
菊地健康福祉課課長補佐	職員健診や特定健診で発見されるのは、やはりそういった生活習慣からくるものです。
我妻委員	毎年の健診で変化を見ていくしかないということか。
菊地健康福祉課課長補佐	ちょっと基準値より上がったね、前の年より項目が増えたね、数字が上がって項目も増えたねとなると治療が始まるという人たちが多いです。
我妻委員	年数をかけたって、なる可能性はあるんだよね。今のように、項目が増えたというのは食生活だから、いろいろと徐々にね。だから、注意しましょうねというのはあるけれど、1番怖い気がするね。1型でも食生活が大きく影響するというふうな考え方があるのかな。
菊地健康福祉課課長補佐	1型は生まれもってというか、血糖をコントロールする臓器の機能がもともと落ちていらっしゃる方が多いです。
我妻委員	だから、必ずしも若年だけでなく一定の年齢になって初めて分かる人もいるわけだから、もともとそれまでは健康でやっていたんだからね。それが分からないわけだ。もし、それが町の健診や検査がきっかけで何か分かるのかなと、病院に行って初めて1型と言われて、それがまだ重症化する前ならいいが、なかにはひどくなって分かったと言う人もいますのでね。その辺は町の健診ではどうなのかなと思って、お聞きしました。

福田委員長	他にありませんか。口腔ケアについて、お聞きしたいことはあります か。なければ、生活習慣病予防対策について、何かありましたらお 願いいたします。ありませんか。それでは、認知症予防について、何 かありましたらお願いいたします。(「課が違ってもいいのですか」の 声あり)
櫻井健康福祉 課長	お伺いして行って、あとは後日に返答となります。
平吹委員	5番の認知症カフェというのは、認知症の方や家族とありますが、 これを利用している人の介護度はどれくらいですか。介護度1とか2 とか、まさか4の人がカフェに来るわけないし。あとは、何人くらい 来ているのかも、その辺をちょっと。
櫻井健康福祉 課長	参加している方の介護度と参加人数はあとで御報告させていただきます。
福田委員長	他にありませんか。我妻委員。
我妻委員	健康フェアなんかとも関連している気がします。楽しくみんなでふ れあう、そういった場を作っていくことが認知症の予防とか対策にも なるのかなと。あのおばあちゃんが出なくなったよとか、人と会うの を嫌がるようになると進行しているよね。そういう意味では長寿支援 課というけれども、健康福祉課のつながりは必要なのかなと、健康増 進とも連動しているのかなと思います。(「もう一つ」の声あり)
福田委員長	平吹委員。
平吹委員	6番の若年性の認知症、やはり若年性の認知症と高齢の認知症では 施設に入っても全然交流しないのね。年代が違うというか、ひとりぼ っちになるので、こういうのはとても共鳴すると思うのですけれど、 家族のふれあいという、このせせらぎの会というのは宮城県主催とい うことですが、美里町でもやっているのですか。その辺もあとで教え てください。
福田委員長	他にありませんか。いただいた資料で、データから見た宮城の健康 の概要版ですが、当委員会で一番取り組みたいのが、健康寿命が美里 町はどうなっているのかということで、興味があったものですから、 男性は下から3番目、女性は上から5番目という、不健康な期間はど ちらも短い。それから、5、6ページの悪性新生物、男性が高い、女 性も高いほうであるし、心疾患については男性が上から3番目、女性 が上から2番目で、脳血管疾患ではどちらも中よりは下になっている というこのデータから見て、担当課としての今後の取り組みについて お聞きしたいのですが、いかがですか。
菊地健康福祉 課課長補佐	女性と一緒にちょっと参加しづらいかと思って、男性だけの健康 教室もしてみたのですが、昨年度は10数名の参加でした。
福田委員長	我妻委員。

我妻委員	この見方ですけれど、不健康な期間が短いということは。
菊地健康福祉課課長補佐	健康寿命プラス不健康な期間が平均寿命になるわけで、いろいろな介護とかの期間は少なくて済みましたということで。平均寿命が長くて健康寿命も長ければいいのですね。
福田委員長	他にありませんか。ないようですので、これで担当課との意見交換は終わります。担当課の皆さん、お忙しいところを大変ありがとうございました。 これより、休憩いたします。
	休憩 午前 11時35分 再開 午前 11時44分
福田委員長	再開いたします。 それでは、研究テーマについて担当課からお話をいただきました。研究テーマの進め方について、項目をしぼって決めたいと思いますが、担当課から、お話いただいた中から取り上げたいと思います。 休憩いたします。
	休憩 午前 11時45分 再開 午前 11時49分
福田委員長	再開いたします。 ただいまより、休憩に入ります。再開は午後 1時半からです。
	休憩 午前 11時50分 再開 午後 1時30分
	再開いたします。 引き続き、研究テーマの項目をしぼっていくということで、皆さんの御意見をいただきたいと思います。 まずはじめに、宮城県後期高齢者医療制度の特別対策事業費補助金交付に基づいて、こちらの事業を検討してはどうかという意見がありました。交付要綱については平成 30 年度のをいただきましたが、31 年度についても今確認をしているところです。そこで、たぶん交付されるだろうという前提のもとで、皆さんから事業内容についてお聞きして、それでいいのであればそれで進めていきたいと思います。 私からは、2つ目として美里町の健康増進計画、健康みさと 21 の取り組みの推進というのがあります。それは、皆さんに担当課からいただいておりますけれども、減塩の取り組みは減塩をすれば高血圧やいろいろな病気や疾患に対してかなりの健康対策になるのではないかと思います。それから、身体活動の取り組みについて研究をしたらいいのではないかと思います。私からの提案でございます。皆さんからも御提案をいただきたいと思います。まずは、宮城県後期高齢者医療制度の特別対策事業費補助金の活用について、何かありましたらお願いいたします。例としましては、皆さんにお渡ししていますので分かる

	<p>と思いますけれど、財源確保のためにこの補助金制度を利用します。 平吹委員。</p>
平吹委員	<p>何かよく内容が分からなくて。(「休憩でいいのですか」の声あり)</p>
福田委員長	<p>休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午後1時32分 再開 午後1時42分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 先ほど、宮城県後期高齢者医療制度の特別対策事業費補助金の活用については、最後の手段としてのお話ですので、それにかかわらず調査する内容について、皆さんで話し合っていきたいと思います。 休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午後1時43分 再開 午後2時13分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 常任委員会の研究テーマとする項目を決めていきます。まず1つは美里町健康増進計画、健康みさと21の取り組みの推進の中にあります減塩の取り組みです。それから、2つ目は身体活動・運動です。3つ目としては健康フェアと啓蒙活動です。この3つにしぼって調査を行いたいと思いますが、これでよろしいですか。(「はい」の声あり) それでは、これで進めていきます。今後の進め方ですが、所管事務調査の視察地と日程を決めたいと思います。それをもとにして、担当課といろいろと意見交換した内容を取りまぜて対策をとっていききたいと思います。 休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午後2時14分 再開 午後2時34分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 所管事務調査の視察地を八戸市にしたいと思います。健康フェスタ、減塩の取り組みも行っているということで依頼をしたいと思います。 休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午後2時35分 再開 午後2時39分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 所管事務調査は八戸市です。日程は7月18日、19日、あるいは24日、25日で調整をしたいと思います。次回は7月2日火曜日、午後1時半から常任委員会を行いますので、皆さんの御出席をお願いいたします。その他に皆さんから何かありませんか。ないようですので、これで常任委員会の会議を終わります。 副委員長、挨拶をお願いいたします。</p>

柳田副委員長	本日は午前中から始まって3時前になんとか終わりました。皆さん、御協力ありがとうございました。暑くなってきましたので、体調管理には十分気を付けるようお願いいたします。本日はどうも御苦労さまでした。
	閉会 午後2時40分